

# 第4学年 松竹梅組 算数科「電たくを使って計算しよう」略案

指導者 伊藤雅代(6/21) 高橋寿喜子(6/22) 大山知己(6/26)

1. 日時 6月21日 5校時(13:35~14:20) 6月22日・26日 2校時(9:20~10:05)  
 2. ねらい ○ 電卓のしくみや四則計算をする場合のキーの押し方を理解し、電卓の使い方に慣れ親しむことができる。  
 3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考	
(2分)	1. めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">電卓の使い方を覚え、いろいろな計算をしよう。</div>				
(8分)	2. 電卓のキーの押し方の練習をする。	・電卓のキーの名称や位置、使い方などを一つずつ押しながら確認をする。			
(10分)	3. 電卓を使って計算の答えを求める。	・問題通りに電卓のキーを押せるよう、問題を板書し、順に説明をする。 ・電卓を使うと簡単に答えが出せることを実感させる。 ☆電卓を用いて正しく計算ができたか。	・簡単な計算 $\times$ , $+$ , $\div$ , $-$ がまじった計算 3位数 $\times$ 3位数の計算 3位数 $\div$ 2位数の計算 など 段階的に問題を提示する。		
(15分)	4. 電卓の不思議さにふれる。 その①	・はじめの3問くらいで中断し、答えに1が並ぶおもしろさやきまりに気づくようにする。 ・残りの式の答えを予想してから、電卓を使って確かめるようにする。	・答えが「1」の数字ばかりになる問題を1問ずつ提示する。		
		その②	・3つめの数押し終えたところから次の数が始まることを確かめる。	・電卓のキーを3つずつ押すと答えが「2220」になる問題を提示する。	
		その③		・電卓遊びを紹介する。	
(5分)	5. ふり返りをする。	・がんばりや満足感を共感できるような発表者を指名する。 ☆電卓の不思議さに興味をもち、用いようとしているか。			